

## 竹生島はこんな配置に



### 竹生島のプロフィール

長浜市早崎町にある周囲約2km、面積0.14、標高197.6mで、琵琶湖では沖島に次いで大きい島。付近は、琵琶湖で最も深く、最深部は100mを超える。島全体が花崗岩の一枚岩からなり、切り立った岩壁で囲まれているのが特徴。  
現在は、長浜港のほか、彦根港や浜大津港、近江今津港、飯浦港などから遊覧船が運航され、年間12万人を超える人が島を訪れている。



船着場から島をみる



旧北国街道筋で島を案内した道標(曾根町)が今も残る(この道標は同じ曾根町内に移設されています)



人々の祈りが宿る神秘の島

# 竹生島

孤島であるがゆえに、  
また、その美しさゆえに、  
そして、

信仰を集めてきたがゆえに、

竹生島は、

神秘の島、信仰の島として、

訪れる人が後を絶えません。

みなさんは、竹生島に

何を感じますか・・・。

琵琶湖八景の一つに数えられる竹生島。その竹生島には、国宝の「都久夫須麻神社本殿」や宝蔵寺観音堂の「唐門」、法華經の写経「竹生島經」をはじめ、数多くの文化財があり、西国三十三所観音霊場の第三十番札所にもなっています。そして、竹生島の弁財天は、安芸の宮島、相模の江ノ島とともに、日本三弁財天の一つに数えられています。

島は、古来より、時の権力者の厚い保護を受け、多くの信仰を集めてきました。これまで、数多くの武將が戦勝祈願に訪れ、遠地からも多くの人が巡礼に訪れています。

平家物語には、木曾義仲の追討に京都を出発した平経正に、家来が「あれが有名な竹生島でございます」と説明する場面もあり、平安時代には、都でも名が知れていたことがうかがえます。また、戦国時代には、織田信長や浅井氏、朝倉氏なども参拝し、長浜城主だった豊臣秀吉は、特に島を厚く保護したようです。そのため、島には今も秀吉ゆかりの遺構が数多く残っています。

また、島は、幾度となく、火災に遭っています。木々に覆われた小さな島であるため、火災になると島全体を焼き尽くし